

## 院内技工士との連携による全顎的な補綴治療

発表者 1) 関喜英 2) 野口龍生

### ■ 略歴

1) 1999年 福岡県立九州歯科大学卒  
2002年 添島歯科クリニック勤務  
2005年 せき歯科クリニック開院

2) 2009年 熊本歯科技術専門学校卒  
2009年 せき歯科クリニック勤務

せき歯科クリニック 〒861-2101熊本市東区桜木3丁目22-19

### [抄録]

全顎的な補綴治療において、Esthetic、Function、Structure、Biologyを考慮して治療を進めるためには、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の緊密な協力が不可欠である。今回は、当院において咬合再構成を行なった一症例を、歯科医師と歯科技工士がそれぞれの専門的な役割を果たしつつ、相互に関わり合いながら治療を進めていった過程を交えて発表する。

本症例の患者は58歳の男性で、カリエス治療と欠損部の補綴を希望して来院された。初診時の口腔内は、カリエス、二次カリエスが多数存在し、下顎左右の大白歯部には欠損が見られた。まだ深刻な咬合崩壊には至っていなかったものの、確実にそこへ向かって進んでいると思われた。

今回の発表では、歯科医師と歯科技工士が担当パートを交代しつつ同一プレゼンテーションを進行させていただきます。会員の皆様と症例を供覧し、ご指導、ご鞭撻を頂ければ幸いです。